

平成22年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・ハダニ類（No.1）

平成22年12月24日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は1バンド当たり平均0.0頭（平年：13.3頭）で、平年より少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は1バンド当たり0頭（平年：0.0頭）で、今回の調査では確認できなかった。
- (3) クワオオハダニの休眠卵数は1短果枝当たり4.4個（平年：3.4個）で、ほぼ平年並である。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬密度

調査地点	カンザワハダニ（成虫）			ナミハダニ（成虫）			クワオオハダニ（越冬卵）		
	本年	前年	平年 ¹	本年	前年	平年 ¹	本年	前年	平年 ¹
東部	鳥取市 祢宜谷	0	0	0.3	0	0	0	1.0	0.9
	鳥取市 佐治町	0	0	18.7	0	0	0.0	34.6	5.0
	鳥取市 青谷町 ²	0	0.3	0.9	0	0	0.0	0.1	0.6
	八頭町 花原 ³	0	0	1.7	0	0	0	7.8	1.6
中部	倉吉市 中野 ⁴	0	0	0.1	0	0	0	0.0	1.2
	湯梨浜町 別所 ⁵	0	0.2	4.9	0	0	0.1	4.8	1.1
	北栄町 由良宿	0.1	5.3	3.6	0	0	0	12.0	10.9
	琴浦町 竹ノ内 ³	0	0	2.4	0	0	0.0	9.5	9.6
西部	大山町 坪田 ⁵	0	0	0.7	0	0	0.0	4.0	1.2
	南部町 朝金	0	0.2	99.3	0	0	0.0	25.1	2.4
県平均		0.0	0.6	13.3	0	0	0.0	4.4	3.4

¹：平年はH12～21年の平均値

²：平年はH15～21年の平均値

³：H20年から調査地点変更

⁴：H21年から調査地点変更

⁵：平年はH13～21年の平均値

調査方法：9月に紙バンドをほ場に設置。園当たり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。12月に紙バンドを回収後、バンド当たりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。同時に園当たり20短果枝を採取し、短果枝当たりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生密度が高かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには下記(1)～(3)、クワオオハダニには(3)が有効である。

(1) 誘殺バンドの取りはずし

主枝や垂主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

(2) 粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

(3) 薬剤散布

3月中旬に、マシン油乳剤（ハーベストオイル）50倍液を散布する。